

第12回 新聞紙で作る高速道路“橋”コンテスト

募集要項

個人応募(デザイン・耐荷・軽量)



【事務局からのお知らせ】

2006年から開催しております「新聞紙で作る高速道路“橋”コンテスト」も今回で第12回を迎えることとなりました。これもひとえに多くの方々にご参加いただき、コンテストを盛り上げていただいた賜物と大変感謝しております。

当コンテストは、橋を始めとする「土木技術や高速道路事業に興味をもっていただく」という目的で実施して参りましたが、誠に勝手ながら今回をもって最終回とさせていただきますこととなりました。

長年、当コンテストにご参加いただき、ご支援いただきましたみなさまにはこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

最終回となります当コンテストへ奮ってのご参加をお待ちしております。

1. コンテストの概要

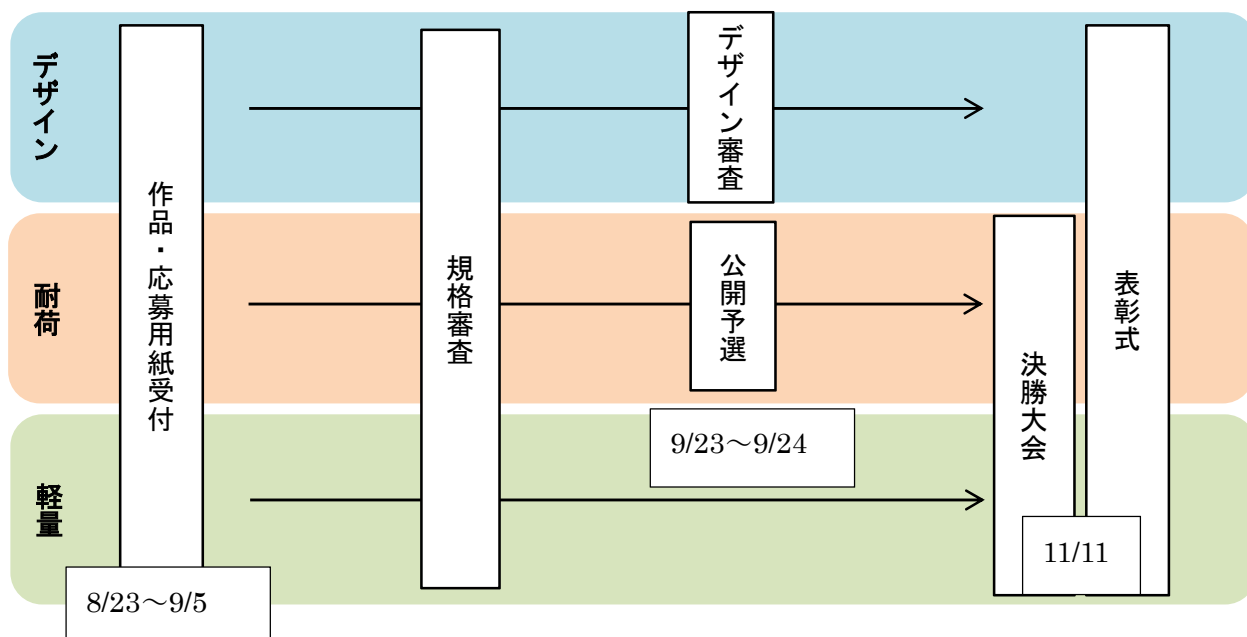
身近にある新聞紙と接着剤だけで、橋を制作し、強さや軽さ、デザインを競うコンテストです。

2. 競技内容

種目	部門	競技内容
デザイン	中学生以下	独創性・機能性・企画力など、与えられたテーマに沿ったデザインを競い合う。第12回テーマ「世界の橋」
	一般	
耐荷	中学生以下	作品の真ん中（路面上のみ）におもりを下げ、どれだけの重さに耐えられるのかを競い合う。
	一般 (無差別級)	
	一般 (10 cm以下級)	無差別級の条件に加え、競技台の上面から橋の最下部分が10 cm以下という制限の中で製作し、作品の真ん中におもりを下げ、どれだけの重さに耐えられるのかを競い合う。
軽量	一般(中学生以下も可)	1 kgのおもりに耐える橋を、いかに軽く作るかを競い合う。

※複数人で制作する場合は、最年長の方の年齢により部門を登録してください。

3. 競技の流れ



4. 制作条件 **【前回大会から変更点が多数あります。必ずしっかりと確認してください。】**
 下記（１）～（２）は条件を満たさないものは失格となり、（３）については失格もしくはペナルティの対象となります。

（１）使用材料・・・新聞紙と接着剤のみ

接着剤については日本国内で市販されている $1^{\circ}\text{C} \sim 30^{\circ}\text{C}$ の環境下で使用できる「のり」及び「木工用ボンド」で且つ乾燥後無色のもののみ使用可能とします。（接着剤を希釈するための水は使用可能）使用した接着剤は応募用紙にご記入ください。

また、接着剤を全面にコーティングして使用することは禁止です。

器具を用いて熱を加えて溶かして使用するタイプの接着剤は禁止です。

着色や塗装についても禁止です。

（２）形状及び寸法の条件

①作品の長さ（支間長）・・・70cm以上

（75cm程度あると安心です。詳細は【2.1. 参考】をご確認ください）

②橋台と路面の高さ・・・10cm以下

③（10cm以下級のみ）

橋台上面から作品最下部の長さ・・・10cm以下

④高さ5mm程度の「ガードレール」の設置

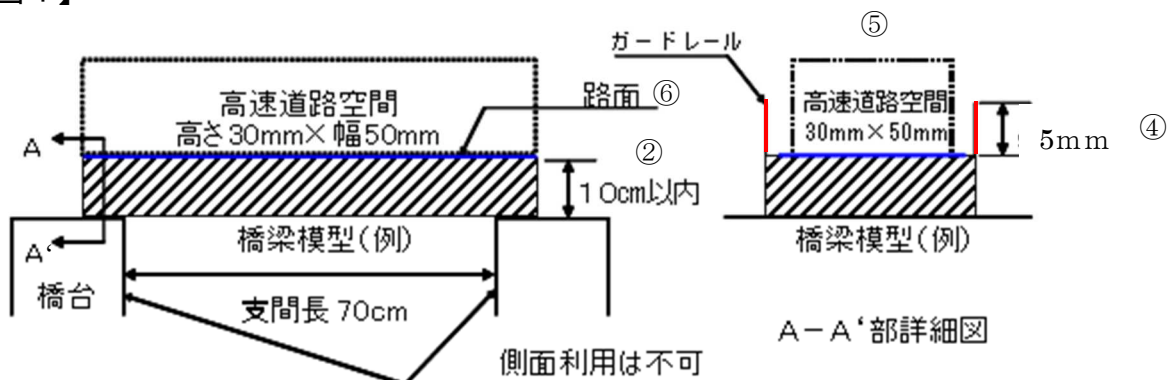
（厚さは自由です。おもりを下げる場所は、ガードレールの設置は不要です。）

⑤路面上全面に渡り、高さ30mm×幅50mm以上の空間を確保すること

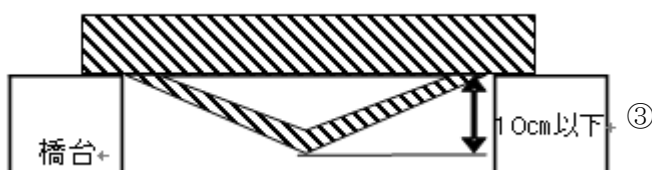
⑥ミニカーが走行可能な路面を設置すること

※①～⑥については下図及びP13、14参考を参照

【別図1】



【耐荷 10cm以下の寸法】（側面で支えてはいけません）



【橋台】



※橋台の詳細はP12をご参照ください。

←すべり止め貼付あり

(3) 重量について

橋の重量（新聞紙+接着剤）が、

軽量部門： 50 g 以下

※50 g を超えると失格とします。

そ の 他： 100 g 以下

※100 g を超えた場合、P 6, 7 記載の「ペナルティ」が科せられます。

※150 g を超えた場合は失格とします。

5. 応募方法

- (1) 応募資格 日本国内在住の小学生以上の方
(年齢に応じて、部門を選択してください)
- (2) 受付方法 応募用紙に必要事項を記載の上、作品とともに下記提出先まで郵送または持込でご提出ください。
- (3) 提出先 〒460-0003
愛知県名古屋市中区錦三丁目2番4号 相互ビルディング4階3号室
株式会社 FOR-STYLE
「新聞紙で作る高速道路“橋”コンテスト作品受付」係
受付時間 / 10:00-17:00(平日のみ)
- (4) 応募作品数 1名につき、各部門2作品まで
それ以上の応募があった場合は、事務局にて各部門2作品まで選定させていただきます。
- (5) その他 作品の提出に係る費用は自己負担とさせていただきます。
郵送による作品の破損についての責任は負いかねますので、作品が破損しないように丁寧に梱包してください。

6. 競技日程

- ・ 作品受付期間 : 平成29年8月23日(水)～9月5日(火)(当日消印有効)
- ・ デザイン審査 : 平成29年9月23日(土)、24日(日)
- ・ 公開予選 : 平成29年9月23日(土)、24日(日)
- ・ 決勝大会、表彰式 : 平成29年11月11日(土)

7. 競技会場

- ・ デザイン審査 : イオンモール大高 (名古屋市緑区南大高 2-450)
- ・ 公開予選 : イオンモール大高 (名古屋市緑区南大高 2-450)
- ・ 決勝大会、表彰式 : 電気文化会館 (名古屋市中区栄 2-2-5)

8. 規格審査【全部門実施】

作品受付後事務局にて規格審査を実施します。

【4. 制作条件】を満たしているかの確認と200gの耐荷性能試験を実施します。耐荷性能試験では高さ30mm以下、幅50mm以下のミニカー（重量200g）を路面上を紐で引っ張り橋を通過し、作品が耐えることができるか確認します。ミニカーが通過できないと**失格**となります。

規格審査時確認内容一覧

確認項目	対象部門
使用材料 新聞紙と接着剤のみ 無塗装・無着色	全部門
橋の長さ（支間長） 70cm以上	全部門
橋台と路面の高さ 10cm以下	全部門
橋台上面の高さから作品の最下部 10cm以下	10cm以下級
ガードレール 高さ5mm程度	全部門
走行空間 高さ30mm×幅50mm	全部門
作品の重量 計測を実施（※）	全部門
橋台の側面を利用する形状になっていないか	全部門
載荷位置が路面上となっているか	耐荷種目、軽量種目
200gのミニカーが橋の上を渡りきる事ができるか	全部門

9. デザイン種目の審査方法

- ・規格審査をクリアした作品を9月23日、24日に実施のデザイン審査進出とします。ただし、初期審査をクリアした作品が多数の場合には、会場スペースの都合上、事務局にて作品の審査を実施してデザイン審査進出作品を決定いたします。（デザイン審査進出作品についてはデザイン審査の前1週間前までに進出作品名をHPに掲載いたします。）
- ・デザイン審査では、ご来場のお客さまによる一般投票と審査委員による審査委員投票により、優秀作品を決定します。
- ・得点の換算は、下記のとおりとし、一般、審査員投票の合計得点で入賞作品を決定します。ただし、作品重量100gを超える作品には、ペナルティを科し減点します。

《デザイン種目の重量オーバーのペナルティ》

作品重量100gを超えた部分について、10g毎に審査得点から1点減点
例：作品重量145gの場合、5点減点

一般投票は、各部門から得票数上位5作品に1位：10点、2位：8点、3位：6点、4位：4点、5位：2点を得点とします。

審査員投票は、審査員それぞれが各部門から上位5作品を選び、1位：5点、2位：4点、3位：3点、4位：2点、5位：1点の得点とします。

総得点が同点になった場合は審査員の合計得点が上位の作品が総合順位の上位とします。

10. 耐荷種目の予選審査方法

- ・規格審査後、申告荷重の5割のおもり（1kg単位）を載せ、5秒間耐えることが確認された上位の作品を公開予選（9月23日、24日実施）に進出します。
- ・公開予選では申告荷重の8割のおもり（1kg単位）を載せ、5秒間耐えることを確認します。クリアした記録を予選耐荷記録とし、上位6作品を目安に決勝大会進出とします。（同記録多数の場合は作品重量が100g以下のものを上位とします。100g以下の作品が多数となる場合は決勝進出作品決定のため、追加競技を実施します。）
（公開予選進出の作品及び作品ごとの日時は1週間前までにHPにて掲載します。）
（決勝大会進出は各部門1人1作品までとさせていただきます。2作品以上が予選を通過した場合には決勝大会にて1作品を選定していただきます。）

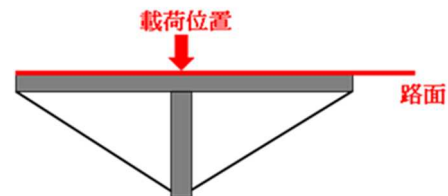
1.1. 耐荷種目の決勝大会での競技方法

(予選審査、公開予選についても事務局にて同様の方法で実施します。)

(1) 耐荷種目の競技方法

①事務局にて橋を橋台に置き、載荷器具をセットします。

載荷する位置は、橋の「路面上」に限ります。



載荷方法

作品の路面の中央に縦80mm×横40mm、厚さ5mmのプレートに乗せ、その上にベルトを掛け、錘を垂直に下げます。



②競技者が載荷器具におもり（1kg単位）を、自らの判断で載せます。

③おもりを載せ、競技者の挙手から5秒間耐えると記録成立です。橋が崩壊するまで何回でもおもりを増やすことができますが、1競技者につき載荷可能時間制限は5分とします。

④橋が崩壊した時点で競技終了です。橋の載荷位置のたわみが100mmを超えた場合も崩壊とみなします。

⑤橋の重量が100gを超えている場合、載荷記録から下記計算式により、ペナルティを科した記録を、正式記録とします。

⑥競技者は、代表者1名とします。

《重量オーバーのペナルティ計算式》

正式記録 (kg) = 載荷記録 (kg) × (100g ÷ 作品重量 (g))

※小数第2位四捨五入

※同記録の場合は、作品重量が軽い橋を上位とします。

1 2. 軽量種目の決勝進出選定方法

- ・規格審査を通過した作品のうち、作品重量が軽い上位6作品を目安に決勝大会進出とします。

(決勝大会進出は1人1作品までとします。2作品以上が予選を通過した場合には決勝大会にて1作品を選定します。)

1 3. 軽量種目の決勝大会競技方法

- ①事務局にて橋を橋台に置き、載荷器具をセットします。
- ②競技者が1kgのおもりを載せて、5秒間耐えると記録成立です。
- ③橋の載荷位置のたわみが100mmを超えた場合も崩壊とみなします。

1 4. 決勝大会について

- ・決勝大会及び表彰式にご出場いただく方には、大会2週間前までにご案内を郵送します。
- ・学校単位でご応募されている方には、ご案内は学校に郵送します。
- ・決勝大会、表彰式にご参加いただく方は、応募用紙記載の代表者住所から会場最寄駅までの交通費をお支払します。(詳細については、決勝大会参加者にご案内します。)
- ・応募作品の著作権については、当社に帰属するものとします。ただし、決勝大会で使用した橋は、制作者の持ち帰りを可とします。(デザイン種目を除く)

1 5. 審査委員

	組織・役職名	氏名
審査委員	中日新聞社 編集局中日スポーツ総局 局次長	齋田 太郎
審査委員	愛知工業大学 工学部 都市環境学科 教授	鈴木 森晶
審査委員	名城大学 人間学部 教授	水尾 衣里
審査委員	名古屋大学 名誉教授	山田 健太郎

※審査委員は追加・変更となる場合があります。

16. 賞並びに副賞授与について

賞および副賞については以下の表のとおりです。

種 目	部 門	順 位	表彰式	賞 状 及 び 副 賞	
デザイン	中学生 以下	最優秀	○	賞状及び副賞（3万円相当）	
		優秀	○	賞状及び副賞（2万円相当）	
	一般	最優秀	○	賞状及び副賞（3万円相当）	
		優秀	○	賞状及び副賞（2万円相当）	
		特別賞	○	賞状及び副賞（1万円相当）	
		佳作		副賞（5千円相当）	
		入選賞		副賞（図書カード2千円相当）	
耐荷	中学生 以下	第1位	○	賞状及び副賞（3万円相当）	
		第2位		賞状及び副賞（2万円相当）	
		第3位		賞状及び副賞（1万円相当）	
		入賞		副賞（5千円相当）	
		入選賞		副賞（図書カード2千円相当）	
	一般 （無差 別級）	第1位	○	賞状及び副賞（5万円相当）	
		第2位		賞状及び副賞（3万円相当）	
		第3位		賞状及び副賞（1万円相当）	
		入賞		副賞（5千円相当）	
		入選賞		副賞（図書カード2千円相当）	
	一般 （10 cm 以下級）	第1位	○	賞状及び副賞（5万円相当）	
		第2位		賞状及び副賞（3万円相当）	
		第3位		賞状及び副賞（1万円相当）	
		入賞		副賞（5千円相当）	
		入選賞		副賞（図書カード2千円相当）	
	軽量		第1位	○	賞状及び副賞（3万円相当）
			第2位		賞状及び副賞（2万円相当）
			入賞		副賞（5千円相当）
			入選賞		副賞（図書カード2千円相当）

※表彰式では、デザイン部門の最優秀賞と優秀賞と特別賞を表彰し、耐荷と軽量部門では第1位を表彰します。

※中学生以下の方には図書カード、その他の方には商品券を副賞とします。

※副賞は、決勝大会終了後、後日発送（平成29年12月ごろ発送予定）とさせていただきます。

17. 入賞

耐荷部門、軽量部門では決勝進出した方を対象に副賞として、5千円相当の商品券又は図書カードを大会終了後にお送りします。ただし、第1位などの上位の賞を受賞された方は重複で受賞とはなりません。

18. 佳作

デザイン部門では、最優秀賞、優秀賞、特別賞に該当しなかったものの、優秀な作品については佳作として、副賞5千円相当の商品券又は図書カードをお送りします。

発表はデザイン審査終了後 HP 上で行い、郵送にて副賞をお送りします。

19. 入選賞

決勝進出していない作品の中から、事務局の審査により「入選賞」をお送りします。

入選賞として図書カード2, 000円相当をお送りします。

入選賞の発表は副賞の発送をもってかえさせていただきますので予めご了承ください。

※同一部門でより上位の賞を受賞の場合には入選賞との重複受賞はありません。

※入選賞については作品応募数にかかわらず一人上限2, 000円相当までとさせていただきます。

【参考】副賞についての事例

例1：無差別級に2作品応募し、1作品が第2位、1作品が入選賞となった場合

→2位の賞状及び副賞の贈呈（【19. 入選賞】に記載の通り入選賞は上位の賞と重複はありません。）

例2：無差別級、10cm以下級に1作品ずつ応募し、無差別級が第2位、10cm以下級が入選賞となった場合

→2位の賞状及び副賞、入選賞の副賞の贈呈

例3：無差別級、10cm以下級、軽量級それぞれ1作品応募し、無差別級が第2位、10cm以下級及び軽量級が入選賞となった場合

→2位の賞状及び副賞、入選賞の副賞2, 000円相当の贈呈（【19. 入選賞】に記載の通り、入選賞を複数部門で受賞しても上限2, 000円相当までとさせていただきます）

例4：無差別級、10cm以下級に1作品ずつ応募し、無差別級が第2位、10cm以下級が第1位の場合

→無差別級：2位の賞状及び副賞、10cm以下級：1位の賞状及び副賞を贈呈

20. その他

- ・入賞者の作品写真、チーム名、氏名、学校名、居住市町村をマスコミ等に提供することがあります。
- ・応募用紙記載の注意事項に同意いただける方のみ、ご応募ください。
- ・チーム名については最大10文字までとします。
- ・募集要項に関する質問についてはメールにて別添様式に記入の上送付してください。回答については質問受付後1週間以内を目安にHP上に公表します。(質問者情報については削除した形で掲載します。) 質問の回答については皆様ご確認頂くようお願いいたします。

提出先：メールアドレス bridge-contest@c-nexco.co.jp

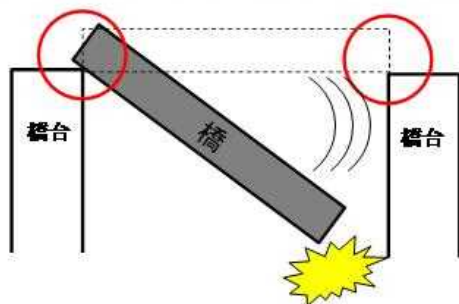
21. 参考

ポイント1 【全種目】

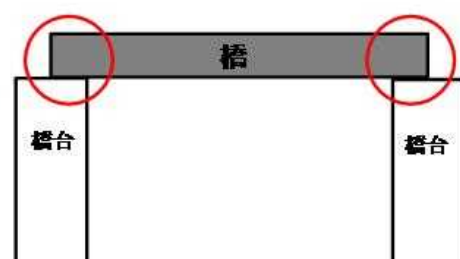
作品の長さは70cm以上であれば自由ですが、橋台の支間長が70cmのため、作品の長さは70cm以上にする必要があります。橋全体の重量にも影響しますが、タワミも考慮すると75cm程度あると安心です。

長さが70cmだと・・・

橋がかりが不十分で落下してしまいます!

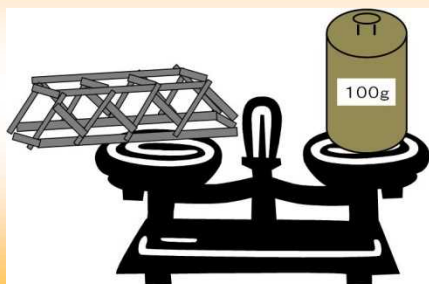


橋がかりは十分に取らしましょう。

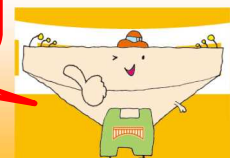


ポイント2 【デザイン】【耐荷】

どんなに「強い橋」、「美しい橋」を作っても、重量オーバーで減点になって負けてしまったら、とても悔しいはず。重量設定は慎重に行いましょう。



重量オーバーは、順位に大きく影響します! 応募前に重量を確認しよう!



👉 **ポイント3【耐荷（個人）】**

■申告荷重の設定は非常に重要です！！！！

①【15kgは耐えるように作ったけど、安全をみて10kgで申告したAさん】

Aさん：申告荷重10.0kg（本来は15.0kgまで載荷可能と思っている。）

予選載荷記録8.0kg（申告荷重の80%クリア）

②【どれだけ耐えるか分からないので、適当に12kgで申告したBさん】

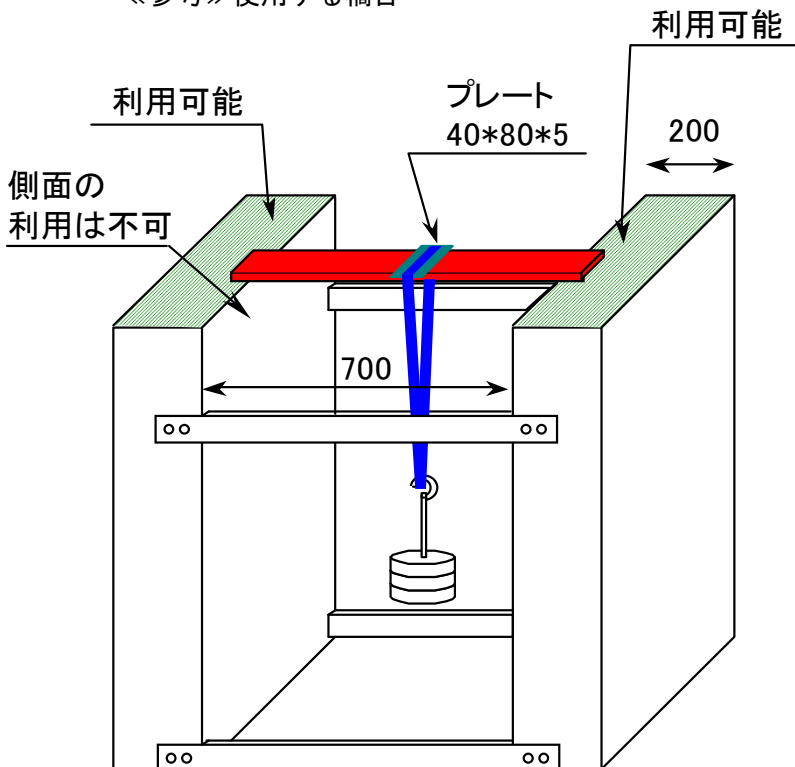
Bさん：申告荷重12.0kg

予選載荷記録10.0kg（申告荷重の80%クリア）※9.6kgを四捨五入

⇒⇒予選載荷記録が10.0kgのBさんの作品が上位となる。

予選記録は、申告荷重の80%をクリアした時点の荷重であり、たとえそれ以上の載荷に耐え得る可能性のある作品であっても、その後の載荷は行いません。申告荷重の設定は、勝負を左右する大変重要なポイントですので、慎重に設定して下さい。

《参考》使用する橋台

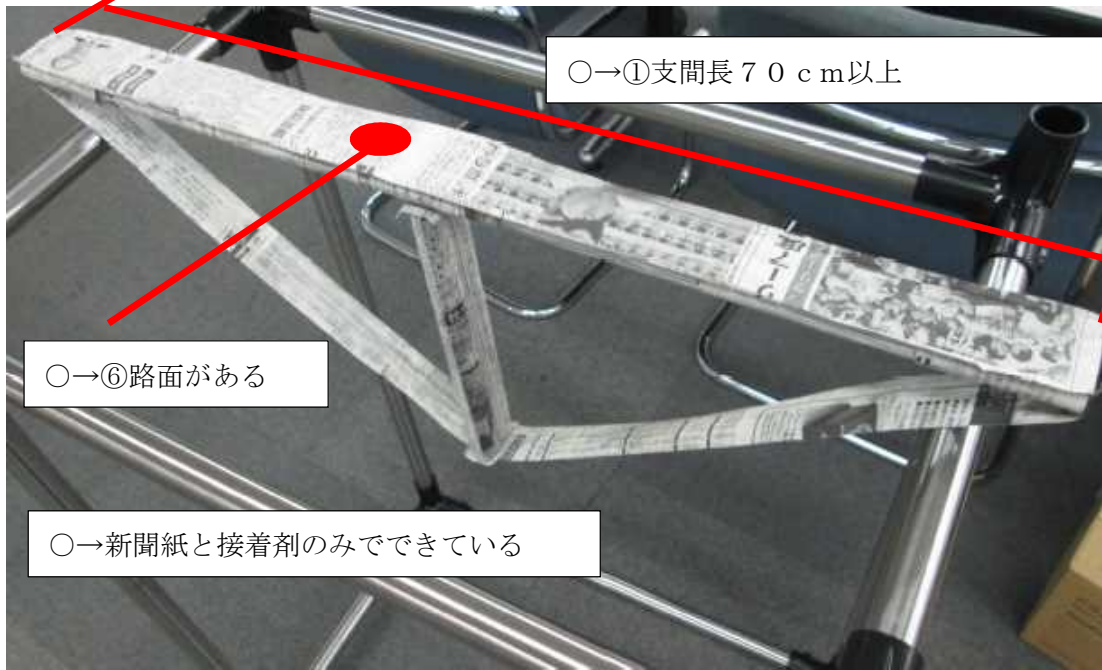


〈参考〉使用するミニカー（※）

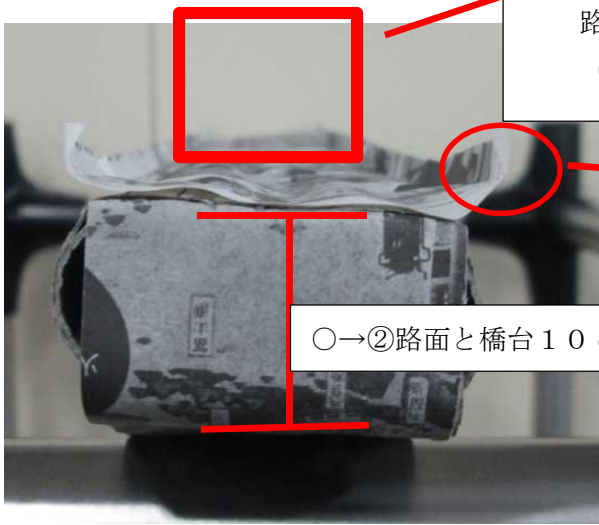


※初期審査時にはおもりで200gになるように調整します。

〈参考〉初期審査時の審査項目



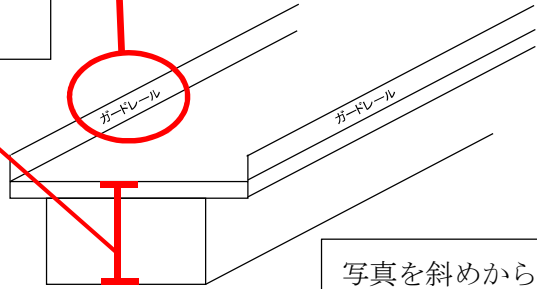
〈参考〉初期審査時の審査項目



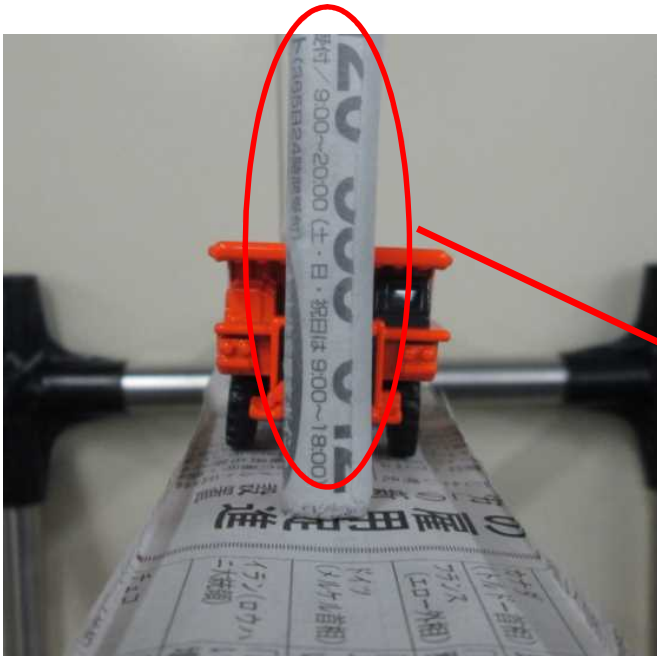
○→⑤走行空間 30mm×50mm確保
路面上は全て確保してください。
(ミニカーを通過させるため)

○→④ガードレール 5mm程度

○→②路面と橋台 10cm以内



写真を斜めから見た図



×→⑤走行空間 30mm×50mm確保
できていません。
(ミニカーが通過できません)